

第1回 日高川（下流域）を考える会 議事録（概要版）

日時：平成26年5月27日（火）15:30～17:10

場所：日高農業共済会館 2階会議室



1. 開会

2. 議事内容

- 1) 考える会の設立趣旨・規約について
- 2) 日高川水系河川整備計画（素案）について

3. 審議内容及び決定事項

3.1 設立趣旨・規約の承認

日高川（下流域）を考える会設立趣旨・規約について、事務局から説明を行い、委員の

承認を得た。

3.2 日高川水系河川整備計画(素案)について

日高川水系河川整備基本方針及び日高川水系河川整備計画(素案)について事務局から説明。

説明に対する委員からの主な意見・質問は以下のとおり。

〈主な意見・質問〉

◆農業用水及び工業用水等の利用状況を教えてほしい。(委員)

→農業用水と工業用水等の許可水利状況について、次回考える会で説明します。(事務局)

◆下川の呼び名は地元の方は“しもがわ”といっているが、私は“したがわ”と教わった。どちらが正式な名称なのか。(委員)

→地元で言われている河川の名称と、河川台帳上で登録されている名称が同一でないことがあり、河川台帳上は“しもかわ”になっていると思う。(事務局)

◆用水路の“うえかわ”に対して“したがわ”と昔から言っている。正式名称があるならばその名前に修正すべき。(委員)

→再度河川台帳を確認して、次回考える会の時に正式名称を回答します。(事務局)

◆今工事を行っている下川の茶面橋上流で、岸野酒造と日高別院からくる道路の間の擁壁を1mで嵩上げしてほしいと何年か前に要望している。大雨が降ったときに道路に水が溢れてたまる状況。一度、現場を見に来てほしい。(委員)

→現地を確認します。(事務局)

◆日高川の若野地区、入野地区の引堤工事が完成すると水量の流れ(流速)が速くなる。御坊市の日高川左岸側(野口地区)の対策を考えてほしい。(委員)

◆津波対策で西川に水門設置を検討してほしい。(委員)

◆日高川で堆積している中洲等の砂利を取っても構わないが、砂利採取すれば河床及び水位が下がり、今あるポンプでの取水できなくなる。百姓としては水がないとやっていけないので、そういうことも考慮してほしい。(委員)

→河床の高さを維持するのと治水とは相反する話。河床掘削がどの程度必要になるか等整備の話は、次回の考える会で説明します。(事務局)

◆西川は改修されて半世紀が経ち、堤体が劣化している。御倉橋から日高町までの間は

非常に河道幅が狭くて、左岸側が浸水しており、過去に圃場事業と合わせて改修する話があったが実現できずに懸案となっている。この機会に御倉橋より下流の河道を掘削していただき、早く海に放流できるような計画を盛り込んでいただきたい。(委員)
→西川だけでなく、西川に流れ込む支川にかかわる話であり、次回の考える会で説明します。(事務局)

◆災害で被災し修繕すると聞いている箇所が修繕されていない。(委員)

→現地を確認します。(事務局)

◆北浜のグラウンドを係留地にすると約束したが実施されていない。(委員)

◆この会で出た意見に対して、しっかりとした返事をしてもらいたい。

→考える会は公開であり、本会の意見も公開する予定。本会で頂いた意見は盛り込めないこともあるが、整備計画策定に反映します。(事務局)

◆平成 23 年の増水の時に堆積した日高川天田橋から若野堰間の土砂撤去、低水護岸の整備、野口新橋から天田橋間の堤防の嵩上げを行って欲しい。(委員)

→個別要望になるので、別途返事します。(事務局)

◆整備の内容は次回の考える会ということか。(委員)

→そうです。(事務局)

◆日高川の堆積土砂の撤去や支川の浸水問題等もあるので、次回質問します。(委員)

3.3 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて事務局から説明。

4. 閉会